

令和3年度千葉県赤い羽根共同募金助成事業

0・1・2・3 歳児が出会うはじめてのおしばい



3か所の乳児院から届いた手作り「Thank You」カード

♥コミュニティ長柄

2021年7月21日（水）10：00～11：00

プログラム名：わらべうたあそび うたとおはなしのじかん

パフォーマー：大沢 愛

♥乳児院エンジェルホーム

2021年11月9日（火）10：00～11：00

プログラム名：みんなでいっしょにダンスあそび

パフォーマー：安西真幸

♥聖愛乳児園

2021年11月17日（水）10：00～10：40

プログラム名：ゆったり のんびり わらべうた

パフォーマー：山の音楽舎 川中美樹

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉2-7-16 サンコート新千葉102号

TEL：043-301-7262 FAX：043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp URL <https://chiba.gekijou.org/>

★目的

- ①乳児院等で暮らす0歳からの乳幼児に対し、プロのパフォーマーによる芸術的な手法でのワークを行い、非認知能力の形成や成長発達を促す機会とし、施設での遊びの豊かさにつなげていく。
- ②乳幼児支援施設の保育士等スタッフも一緒に楽しんで笑顔になり、ホッとする時間とする。
- ③乳幼児期から人と触れ合ったり、文化と触れ合う機会が限られる乳児院において、芸術体験の格差がない環境づくりに寄与し、県内の3か所の乳児院へ「はじめて出会うおしばい」を、施設の費用負担のない形で届ける。



★実績

実施場所	月 日	内 容	講 師	参加人数
コミュニティ長柄	7月21日	わらべうた	大沢 愛	乳幼児 19人 保育士 19人
乳児院エンジェルホーム	11月9日	ダンスあそび	安西真幸	乳幼児 16人 保育士 7人
聖愛乳児園	11月17日	わらべうた	川中美樹	幼児 6人 保育士 6人

★目的に対しての成果

コロナ禍の中、感染対策をしっかりと、感染拡大の合間を縫うように、千葉県内の乳児院3か所でプロによるワークショップを実施することができました。

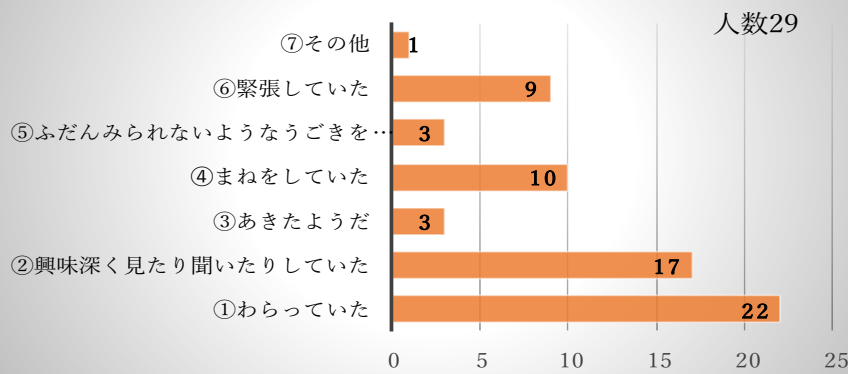
①「赤ちゃんは全身が目と耳」と言われているように、丸いものや色のきれいなものが大好きで、パフォーマーの声に反応し、音にも敏感です。わらべ歌のうたごえや鐘の音のする方に顔を向け、鳥やトンボの動きを目で追い、じーっとよく観ていました。ダンスではパフォーマーともコミュニケーションをとって、一緒にゴロゴロしたり飛んだり、音楽に合わせて自由に体を動かしてあそびました。保育士のアンケートで、当日の子どもの様子を、90%がわらっていた、34%が真似をしていたと応えているように、安心できる環境のもと、ゆったりと微笑みながらのワークやあそびは、将来生きていく力となる非認知能力を育むことを、保育士さんと共に実感し共有できました。その後、子どもたち自身がわらべうたを口ずさみ、このワークで体験して得た遊びのスキルを日常保育に活かし、毎日の遊びが豊かになったことは大きな成果です。

②コロナ禍で、乳児院でも行事が制限され、外部の受け入れも閉ざされ、自粛が続く中で、延期、延期もあつてのワークショップの実施でした。緊張感でストレスや不安の高かった保育士さんが、子どもと一緒に楽しみほっとした時間を過ごすことができました。保育士さんの最高の笑顔に、こうした芸術の手法によるプログラムの効果が高いことを気づかされました。コロナ禍においては子どもたちを支援する保育士さんへのサポートが求められています。

③乳児院では生後1か月の赤ちゃんから3歳未満の幼児が生活しています。乳幼児期から人と触れ合い文化に触れ合うことが、心と体の発達にとっても大切だと認識する大人が拡がり、3か所の乳児院のニーズは高く、100%またぜひやりたいと希望しています。また、年1回の実施ではニーズを満たすことはできず、何度か届けられる状況を創り出すことが課題です。

★保育士・施設スタッフのアンケートの自由記述 29 枚からの読み取り

子どもたちの表情はどうでしたか



■子どもの様子や表情について

(複数回答可)

わらっていた 89% 興味深くきいていた 58% 真似をしていたが 34%と大多数の子ども表情豊かに楽しんでいる。緊張していたが 31%については、最初会場に入った際の雰囲気の違いや見知らぬ人がいて、不安がったり泣いたりした。一瞬緊張した表情をしたということで、ワークが始まるとどの子ども笑顔になっていった。

自由記述から

- ・集中して演目に興味を示していて、とてもかわいい様子がみられました。
- ・子どもたちが真似して一緒に楽しめた。音楽に合わせて体を動かすことで、子どもたちが笑顔になり、すごく素敵な時間だと思いました。
- ・いつも見られない子どもの様子を見られて新たな発見となりました。
- ・始めこそ緊張していた子どもたちだったが、徐々に表情が柔らかくなっていったのがわかったし、楽しそうに過ごせていた。とても良い時間になった。
- ・子どもの笑顔も見られ、無理にやらせず、いずれ自らやるようになることに、お手玉など見せてあげようと思います。
- ・ただ見るだけの催しではなく「参加」「体験」型だったので、とても楽しい時間だった。
- ・まねしてやってみたいと思うものが沢山あり、楽しかったです。
- ・わらべうたの他にも手遊びや歌をやってみたいと思った。子どもたちと一緒にやってみてとても楽しかった。
- ・子どもの表情、親子の様子が笑顔になって楽しく大満足のワークだった。



どのくらい参加できた？

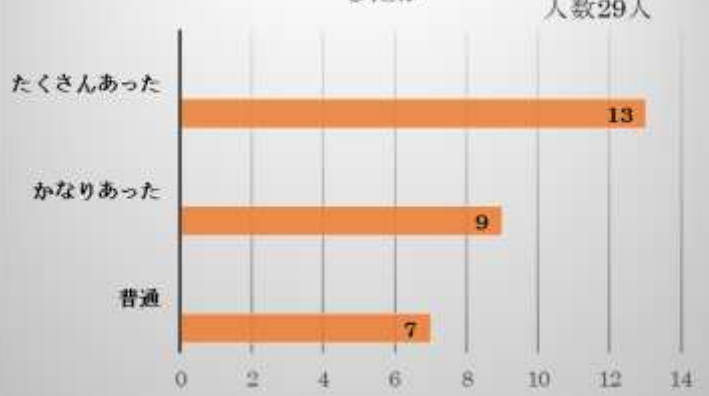


時間はどうでしたか？



- たくさん・かなり参加できた 86%、普通 14%でワークに十分参加できた
- 時間ももっと長くてもよかったもあり、ちょうどよい 100%。
- また実施したいは 100%。

やってみaitと思ったプログラムはありましたか



- やってみaitプログラムがあったは大多数で、ワークがとても楽しかったことと、施設等で遊ぶプログラムが見つかったといえる。ただみるだけではない効果をもたらしている。



実施施設：コミュニティ長柄

プログラム名：「わらべうたあそび歌とおはなしのじかん」



実施場所：コミュニティ長柄養育室

実施日時： 2021年7月21日（水） 10:00～ 11:00

参加者数：総数 38 人

① 乳幼児 19 人(0 歳：4 人 1 歳：5 人 2 歳：4 人 3 才：5 人 その他：1 人)

② 大人 19 人（保育士：13 人 看護師：2 人 施設関係者：4 人）

スタッフ数：パフォーマー 大沢 愛

コーディネーター 白鳥 みゆき 桑原 信子

プログラム内容

<0 歳児～1 歳 2 カ月>

♪ちゅちゅちゅ♪てんこてんこ♪にぎにぎ♪かいこうまんま♪かあさんかんよ♪〇〇ちゃん♪手ってのねずみ♪くくくく「手袋人形でみる・きく♪ねむの木」鐘

<1 歳 7 カ月～4 歳 5 カ月>

♪ちゅちゅちゅ♪手ってのねずみ♪そうめんやそうめんや♪こいこいこびきさん♪はたはたギッチョン♪かごかご十六文♪てんぐのめん♪こらほどのお重箱に♪しおぶりこぶり♪さあ行こう♪輪になれ♪でんでんまあり「みるきく 木彫りのカエル サンドドラマ・・・(♪夏の空)」♪さよならあんころ餅

当日の様子

<0 歳児～1 歳 2 カ月>

- ・コチョココチョされて笑顔がこぼれ、またコチョココチョしてくれるかな、という気持ちがこぼれていた。
- ・愛さんの語りかけに「うーうー」と声を出して応えていた。(3ヶ月児)
- ・♪にぎにぎにぎ で、真似っこして手が動いている子に愛さんが「できたねー」と声をかけると嬉しそうな笑顔がみられた。受けとめられ感が持てていると感じられた。
- ・名前を呼んでもらうことで自己を意識し、自分に向けられる言葉を受けとめているように感じた。

<1 歳 7 カ月～4 歳 5 カ月>

- ・周りの子どもたちは、歌に引き込まれ、まねっこしながら手や身体を動かしていた。
- ・歌詞の「大根おろし」に大うけで、それに応えて愛さんも何度も歌ってあげていた。
- ・やってくる「コチョココチョ」を期待して、一瞬の間のあと、くすぐられて身体全体で大笑い。もっとやっつてのアピールもでていた。
- ・愛さんからの「店ですか？奥ですか？」の問いかけに「おクー！」と大きな声でこたえていた。何度聞いても「おクー」とこたえて大笑い。

施設関係者からの声

・「うたと、おはなしのじかん」。子どもたちは、前日より、とても楽しみにしていました。歌いながら、身体を動かすことに、興味をしめす様子がみられ、養育者も一緒に楽しむことができました。日々の生活の中で、3 歳児の女の子、数人がわらべうたを歌いながら遊んでいました。子どもたちの中で、歌い継がれていると感じうれしい思いがいたしました。また来て下さることを楽しみにしています。

(コーディネーター白鳥みゆき 桑原信子)



実施施設：乳児院エンジェルホーム

プログラム名：「みんなでいっしょにダンスあそび」



実施場所：乳児院エンジェルホーム

実施日時： 2021 年 11 月 9 日（火）10：00～11：00

参加者数：総数 23 人

② 乳幼児 16 人（0 歳：4 人 1 歳：5 人 2 歳：7 人）

②大人 7 人（保育士：5 人 看護師：1 人 施設関係者：1 人）

スタッフ数：パフォーマー 安西真幸

コーディネーター 椎名好子 鈴木佳子

プログラム内容

【1 歳半～2 歳】

ミッキーマウスマーチに合わせて歩いたり手拍子

ベビーシャーク（指先で小さく、手首で少し大きく、腕を伸ばして大きく）パクパク。

擬音がが流れる（ガラスをこするようなキュッキュッ子猫の鳴き声、水の中の泡の音プクプク、）

音に合わせてからだを動かす。高い高いをしてもらう。

布遊び（風の音が聞こえて大きな白い布を使って）

となりのトトロ「さんぽ」に合わせて歩き回る。

【0 歳～1 歳】

擬音がが流れる中、ベビーシャーク（指先で小さく、手首で少し大きく、腕を伸ばして大きく）

パクパク。布遊び（風の音が聞こえてフェイスタオルを使って）

当日の様子

子どもたちの中には人見知りもなく、会ってすんなりまあちゃんの周りに寄ってきて、膝に座ったり、距離が縮めるのが早かった。なかなか中に入れない子もみんなを見ながらその子なりに楽しんでいたようだ。いろんなことに興味を示した子たちが多かった。

擬音が流れてくると良く音を聴いていて、とても楽しそうだった。音に合わせて体を動かしていた。まあちゃんに自分を見てもらいたくて、見せてドヤ顔し、「すごいすごい」とほめられ、満足そうだった。まあちゃんが子どもに触っても Ok だったので、高い高いの時には、普段あまりやってもらえてないのか何回も何回も要求する子が多く、コミュニケーションが取れていた。布遊びでは布を飛び越えたり、布に巻き付いたり元気いっぱい。3 カ月の子は、まあちゃんと目と目を合わせ、まあちゃんのパクパクをじーっと見ていた。表情が豊かになっていった。

施設関係者からの声

- ・みんなとても楽しそうだった。
- ・いつも泣く自閉症の子も楽しそうなのが見えて、嬉しかったです。
- ・とても、楽しい時間をありがとうございました。子どもたちの好きな曲もあり、気持ちもノリノリだったと思います。いつも見られない子どもの様子を見られて新たな発見となりました。
- ・普段は見られない意外な子が楽しんでいたので驚きました。新しい発見でした。
- ・目と目を合わせることが大事だと感じました。

（コーディネーター： 椎名好子 鈴木佳子 ）



実施施設：聖愛乳児園

プログラム名：「ゆったり のんびり わらべうた」



実施場所：聖愛乳児園

実施日時： 2021 年 11 月 17 日 (水) 10:00～10:40

参加者数：総数 12 人

② 乳幼児 6 人(2 歳：4 人 3 才：1 人 4 才：1 人)

②大人 6 人(保育士：4 人 看護師：1 人 施設関係者：1 人)

スタッフ数：パフォーマー 川中美樹

コーディネーター 桑原信子 鈴木佳子

プログラム内容

- ・♪じゃこかいじゃこかい ほ～いちもんめ ♪ひと～つみつけてとんやれとんやれ～(お手玉を使って)
- ・♪うまはとしとしなくてもつよい～♪せんぞやまんぞおふねはぎっちらこ～
- ・♪てってのねずみ【くすぐり遊び】♪いちめどう、にめどう、さんめどう、よんめどう、子どもと向き合っ
- ・♪しりしり(子どもの足の指(いちり)、足首(にり)、膝(さんり)、お尻をなでる。)
- ・♪いもむしごろごろ、ひょう～たんぽっくりこ。♪ぴょんぴょんぴょんくるくるくる♪ねるねるねる(股のぞき)
- ・♪しおぶりこぶり、しおんなきや、ポチャリン。(子どもをだっこして横にゆらす。)
- ・♪かごかごじゅうろくもん♪ひろいちゃおくれ♪ふくすけさん、えんどうまめ
- ・♪うさぎうさぎ～♪と～んぽとんぽ、このゆびとまれ(お月様、うさぎ、すすき、赤とんぼの小道具使って)

当日の様子

何が始まるのかとちょっと興味津々の様子で始まり、緊張気味だったが、お手玉を使い歌が流れてくると、初めて聞く歌だと思うが何となく心地よい歌にホッとした様子が見られた。先生と 1 対 1 で独り占めで満足そう。だんだんと表情も和らぎ抱っこしてもらったり、くすぐりっこしたり子どもたち楽しんでニコニコ顔になった。最後の「うさぎうさぎ」や「赤とんぼ」では、真剣な眼差しで見つめていた。子どもの中には緊張しあまり参加することができなかった子もいたが、子どもペースで参加しニコニコし楽しんでた保育士さんがいた

施設関係者からの声

- ・歌に合わせてリズムをとる遊びは、楽しいと感じました。
- ・始めこそ緊張していた子どもたちだったが、徐々に表情が柔らかくなっていったのがわかったし、楽しそうに過ごせていた。とても良い時間になった。
- ・子どもの笑顔も見られ、無理にやらせず、いずれ自らやるようになることに遊びを見せてあげようと思います。お手玉など

(コーディネーター 桑原信子 鈴木佳子)

「新型コロナウイルス感染防止対策について」



2020 年 8 月 (特) 子ども劇場千葉県センター

0.1.2.3 歳児とその親のためのワーク&舞台上演実施にあたり、新型コロナウイルス感染防止について、子ども劇場千葉県センターの考え方と、演技者と共に行う具体的対策・できることについて以下のように記しました。

■ (特) 子ども劇場千葉県センターの考え方

感染防止については、100%の安全は保証できませんが、私たちができることはすべてやるということと、安全を高め安心の保証をしっかりとしておくという姿勢で臨みます。

そのために、事業実施の際には、主催者、スタッフ、演技者、親（施設の保育士等）が一緒に「こういう考え方でやろうね」と、事前の理解と共有を丁寧にするのが大切だと考えています。親たちが過度な緊張感をもたないように、「リラックスして楽しんでください」というやさしい対応や雰囲気も心がけます。

■ 打合せでは十分なヒアリングと意見交換を行います

当団体や演技者の感染防止対策をお伝えし、実施施設の現状や対策、意向、心配なことを十分お聴きします。相談や打合せを丁寧に行い、実施内容を確認します。

実施当日は、親たちがわが子の動きに敏感になることが考えられます。このワークでは、0歳～3歳は自由に動き回るのを、動くそばから止めることは控えます。うれしさの余り突進してくることがあっても上手に対応します。そういうハプニング的なことはあり得ることも予測し、演技者・スタッフが丁寧にメッセージを伝え、親子が安心して楽しめるようにします。

■ スタッフ・演技者の感染対策 安心につながる対応

- ①手洗い、うがい、マスク着用、大きな声や必要以外の会話を控える、小道具等の消毒、配布物の手渡しは避ける等、基本的な感染防止はしっかりと行います。
- ②当団体のスタッフ及び演技者は、実施 14 日前から健康チェックシート（別途参照）にて健康チェックをし、実施日に責任者が全員の健康を確認します。必要に応じて実施施設への提出もいたします。（体温測定 発熱、倦怠感、頭痛、咳、のどの痛み、鼻水・鼻づまり、腹痛、下痢、嘔吐、味覚・臭覚異常の 11 項目をチェック）
- ③三密を避けるため・ある程度の空間をつくるために、会場の広さによって募集参加者数を決めます。窓を開け放って行い、必要に応じ扇風機等も使用します。それでも換気が十分でない場合は、簡易なサーキュレーターの持ち込みが可能です。演技者と参加者の距離を保ち、実施施設的环境下で、最善の工夫と対応をします。
- ④施設の要望やガイドラインに添って行動します。（入口での体温検査、訪問記録、アルコール消毒等、施設が決めた事項）
- ⑤当日は参加した親たちへ、安心して楽しい時間にするための協力をお願い等、配布物を置いておきます。演技者からもひとこと協力のメッセージもします。



令和 3 年度千葉県赤い羽
根共同募金 実績報告書